



入居者様の声

S・K 様 : 40 代男性 : 筋強直性ジストロフィ
ナースホーム OASIS 藤が丘入居中 : コミュニケーション支援機器の利用なし

S 様が現在の疾患を診断されたのは、約 25 年前です。先にご家族の罹患が発覚し、遺伝性素因もあるため S 様も検査したところ同病名の診断がつかしました。お父様が診断された時の事、ご自身が診断された時の事を次のように振り返られました。「父は普段と変わらず食事に出かけ、突然倒れ入院した。そんな父に何かしてあげたいと思ったが、その時は幼く何もできなかった。自分の場合は急じゃなかった事が、父とは違う」

診断後も一人暮らしをされ、ナゴヤドームへ野球観戦に出かけられました。しかし思うように身体が動かなくなり、“自由な生活”は制限を余儀なくされました。約 5 か月前、ホームへの入居を決める時はとても悩まれたとの事でした。「先の事は分からない、考えないようにしている」と、今はまだ身の回りの事をご自身で行えている現状に満足をされている様子でした。

コミュニケーション支援についても、お父様が文字盤を使用し大変そうなお様子を見てられました。支援機器や支援機器のできる事の紹介をさせていただきましたが、「機械は難しくて苦手」との事でした。今後必要となった時にタイムリーに支援できるよう、生活を見守らせていただく事を約束いたしました。



スタッフの声

Y さん : 訪問介護士 : ケアコール藤が丘 : 2 か月

私はケアコール藤が丘に所属して 2 か月になります。介護の経験が少ないため難病や人工呼吸器管理を必要とされる入居者様など分からないことが多く、介護をしていくうえで戸惑うこともありました。当施設に入り福祉用具や身体の一部を使う等の様々なコミュニケーション方法があることを知りました。先輩方を見て日頃の関わりや観察等から入居者様にあったコミュニケーション方法を学び、その人らしく安心して過ごしていただけるよう私も努めてまいります。



トピックス

“難病カフェ”に参加

9 月 29 日 (水) にオンラインで開催された「難病カフェじょうさい」に参加しました。Dr による ALS 治療についてご講義いただいた後に、当ナースホームに入居されている ALS の方の生活やコミュニケーションについて、「わがままに生きる」というテーマにてご紹介させていただきました。